

# 立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

衆議院議員・小児科医 No.612

## あべともこニュース

### 菅内閣は早急に臨時国会を！

#### ◆国会も開かず、菅総理は退陣？

9月3日、菅総理は突然に自民党総裁選への不出馬を宣言しました。理由は「コロナ最優先」。しかし、「ワクチン一本足打法」だった対策を、一夜にしてどう変えることにしたのでしょうか？

検査を抑制し続けて、緊急事態宣言で国民には外出自粛ばかりを求めながら、五輪を強行。

五輪選手には毎日検査を行うというダブルスタンダードの一方で、13万人もの医療難民（自宅療養者）や相次ぐ在宅死亡者を出しました。

一貫して国民の声を聴こうとしない姿勢は、カジノIR誘致の住民投票を求める市民の署名を横浜市議会に否決させ、前市長に強行させ続けた結果、市長選挙で大敗した時に酷似しています。

自民党総裁辞任まで2週間、コロナ対策専念のためというなら、国会を開き、生命と暮らしを守るために、まず何を優先させるのかと野党で論じて実行すべきです。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）  
当選 7 回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長  
現在、内閣委員会・原子力問題調査特別委員会委員



[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

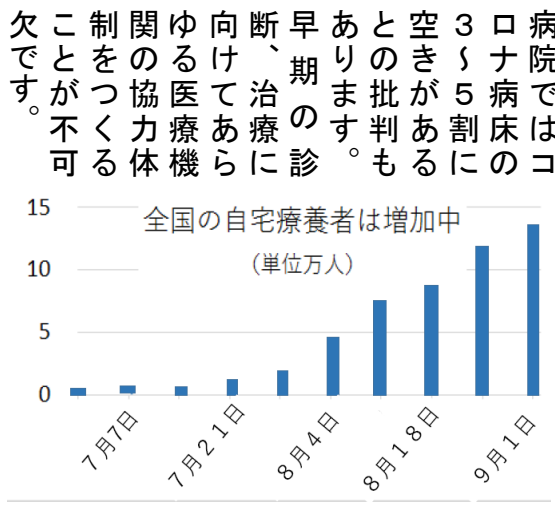
あべともこ 検索

あべともこと共に歩む会後援会  
入会のご案内及びボランティア  
スタッフ募集中！



#### ◆急増する自宅療養者の受け皿を！

早期検査・隔離・診断・治療の受け皿づくりが急務です。既に25の自治体（都道府県および政令市）が臨時病棟を既設または開設予定。しかし、人材の不足が懸念されています。他方、尾身茂・政府分科会会長が理事長を務める「地域医療機能推進機構」下の公的病院ではコロナ病床の3〜5割に空きがあるとの批判もあります。



出典：厚生省データから阿部知子事務所作成

#### ◆汚染水・避難指示解除に住民の声を

東電福島原発事故後、「将来にわたって居住を制限すること」を原則としてきた帰還困難区域で、「復興拠点」とした地域以外でも避難指示を解除するとの政府方針が先月末、明らかに。

原発ゼロ・再エネ100の会で、内閣府の原子力災害対策本部にヒアリングをしたところ、自治体の要望に対応したとのことですが、避難住民の声は全く聴かれていません。「具体的には今後決める」、また「除染費用は国が負担する」と言いますが、これまでも同様、除染は汚染者である東電の負担とするのが当然です。

また、全国漁連をはじめ多くの反対と懸念がある汚染水の海洋放出については、海底トンネルで1キロ沖に行うとの方針も東電が発表しました。政府・東電の一方的な説明で決定するのではなく、いったん立ち止まり、十分な説明責任を果たすべきです。

衆議院議員 あべともこ事務所 〒251-0025 藤沢市鵜沼石上 1-13-13-1 F

TEL 0466-52-2680 FAX 0466-52-2681 E-mail : inochi@shonanfujisawa.com

立憲民主党神奈川県総支部連合会 〒231-0012 横浜市中区相生町 4-69-2 F TEL 045-226-2377 FAX 045-226-2378